

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【公開番号】特開2010-25524(P2010-25524A)
 【公開日】平成22年2月4日 (2010.2.4)
 【年通号数】公開・登録公報2010-005
 【出願番号】特願2008-191164(P2008-191164)
 【国際特許分類】

F 2 3 L 15/02 (2006.01)

F 2 3 D 14/66 (2006.01)

【 F I 】

F 2 3 L 15/02

F 2 3 D 14/66 C

【手続補正書】
 【提出日】平成21年12月24日 (2009.12.24)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多数の蓄熱体を充填するための蓄熱室を有するリジェネレイティブバーナーであって、蓄熱室内に回転可能に設けられた 1 本以上のシャフトと、該シャフトに設けられたスクリュウ羽根と、前記シャフトを回転させる駆動装置と、前記蓄熱体から離脱したダスト類を回収する回収室と、を備えたことを特徴とするリジェネレイティブバーナー。

【請求項 2】

前記シャフトは、前記蓄熱室を通過する燃焼排ガスの流路方向である上下方向に沿って延びることを特徴とする請求項 1 に記載のリジェネレイティブバーナー。

【請求項 3】

前記回収室は、前記蓄熱室の下端よりも低い位置に配置されていることを特徴とする請求項 2 に記載のリジェネレイティブバーナー。

【請求項 4】

前記スクリュウ羽根及び前記駆動装置は、前記シャフトの回転に伴って蓄熱体を上方空間へと押し上げる方向に螺旋方向及び回転方向が規定されていることを特徴とする請求項 3 に記載のリジェネレイティブバーナー。

【請求項 5】

前記シャフトが離間状態で複数本配置され、前記駆動装置の駆動によって前記複数本のシャフトが回転することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の何れかに記載のリジェネレイティブバーナー。

【請求項 6】

前記複数のシャフトは、同方向に螺旋方向が規定された前記スクリュウ羽根が設けられ且つ同方向に回転することを特徴とする請求項 5 に記載のリジェネレイティブバーナー。

【請求項 7】

前記複数のシャフトは、互いに逆方向に螺旋方向が規定された前記スクリュウ羽根が設けられ且つ互いに逆方向に回転することを特徴とする請求項 5 に記載のリジェネレイティブバーナー。

【請求項 8】

多数の蓄熱体を充填するための蓄熱室を有するリジェネレイティブバーナーであって、蓄熱室内に回転可能に設けられ且つ前記蓄熱室を通過する燃焼排ガスの流路方向に沿って延びる１本以上のシャフトと、該シャフトを回転させる駆動装置と、前記シャフトに設けられて前記蓄熱室内に充填された前記多数の蓄熱体を攪拌しつつ前記シャフトの延在方向に沿って移動させるスクリー羽根と、前記蓄熱体から離脱したダスト類を回収する回収室と、を備えたことを特徴とするリジェネレイティブバーナー。